

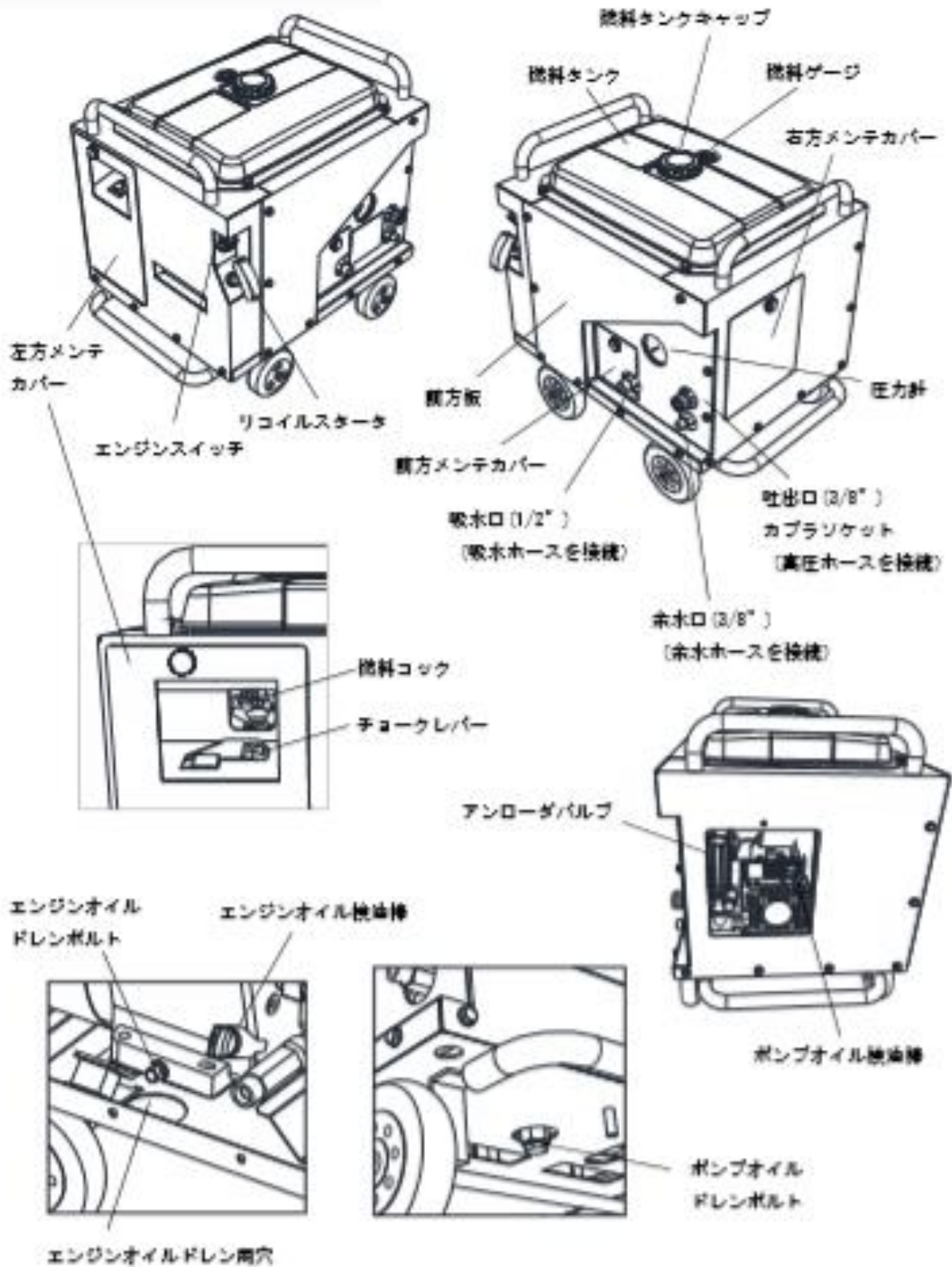
トラブルシューティング

高圧洗浄機 編

2024.5

日本ワグナー・スプレーテック株式会社

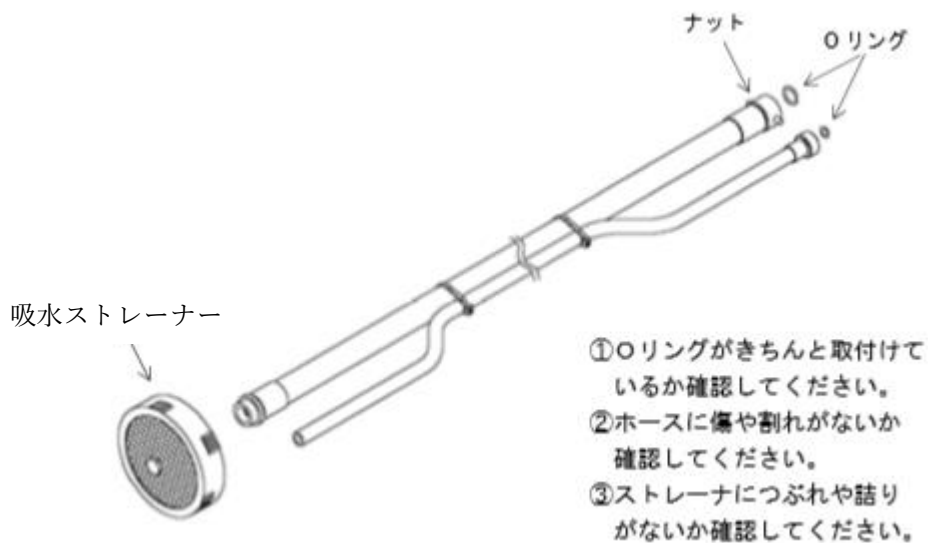
WZ13-150ECO2



Q1 エンジンは始動するが、圧力が上昇しない。

- ① 吸水ホースの締付不足、又はパッキン無し、あるいは劣化によって締付が不十分で

空気を吸い込んでいることがあります。

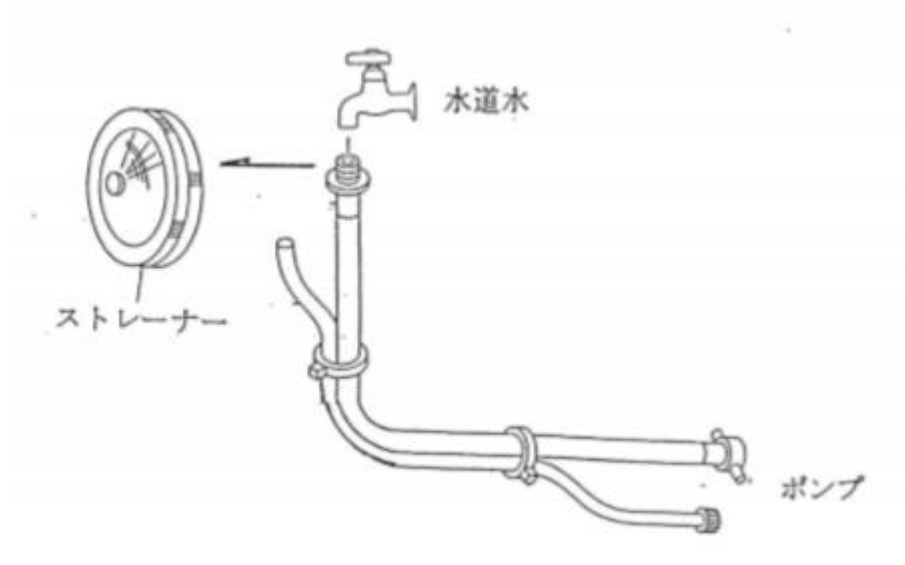


- ② ポンプ内の固着や異物（ゴミ）のつまりが考えられます。

吸水ホースからストレーナーを外し水道水を直接ポンプの中へ流し込んで下さい。

固着部の解除、異物（ゴミ）が除去されると余水ホースから水道水が出てきます。

再びストレーナーを取り付け水タンクに入れエンジンを再始動させて下さい。

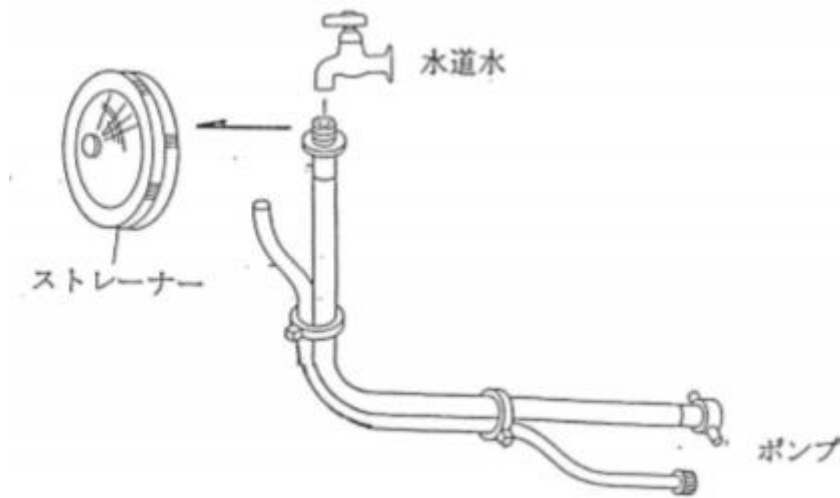


- ① ②を行っても正常にならない場合はポンプの故障（パッキン、ピストン、弁の摩耗）が考えられます。 **ワグナーの指定サービス店に連絡して下さい。**

Q2 余水ホースから水は出てくるが、洗浄ガンの引き金を引いても圧力が上がらない。

- ① アンローダバルブに Q1 の②が考えられます。 同じ方法を行って下さい。
- ② アンローダバルブのノブが低圧になっていませんか？時計回り（右）に廻していくと高圧になります。（圧力計を見ながらゆっくりと廻して下さい。）
- ③ ポンプが空気を吸い込んでいませんか？ 貯水タンクに水の補給をして下さい。
- 吸水ホース接続箇所の増し締めをして下さい。
- ④ 吸水ストレーナーの O リングが未装着又は損傷していませんか？
- O リングの取り付けて下さい、又は交換して下さい。
- ⑤ アンローダバルブ、ポンプのバルブ固着が考えられます。

吸水口か吸入ホースから水道水を強制的にポンプに入れて下さい。



① ～⑤を行っても正常にならない場合はアンローダバルブ、ポンプの故障が考えられます。

ワグナーの指定サービス店に連絡して下さい。

Q3 アンローダバルブを時計回り（右）に廻しても圧力が高くない。

① ノズルチップが摩耗して口径が大きくなっていませんか？

新品と交換して下さい。

② 標準装備のノズルチップより大きい物に変えていませんか？

元のノズルチップで試して下さい。



※機種によって異なります。
刻印をみて連絡して下さい。

③ ②を行っても正常にならない場合はワグナーの指定サービス店に連絡して下さい。

Q4 作業中に圧力が上がったり、下がったりして不安定。

- ① 吸入ホースの締め付け不足、パッキン無し、劣化が考えられます。

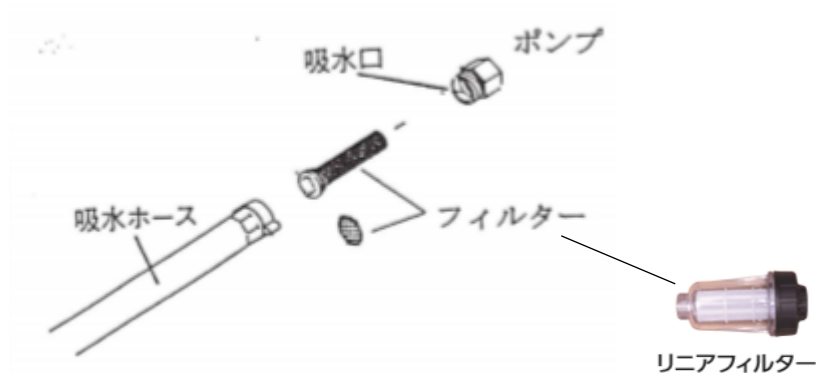
パッキンを調べて、少し強めに締め付けて下さい。

- ② 吸入ホース先端のストレーナー（円盤）が目詰まりしていませんか？

ストレーナーを調べて下さい、又は水面に浮いていませんか？

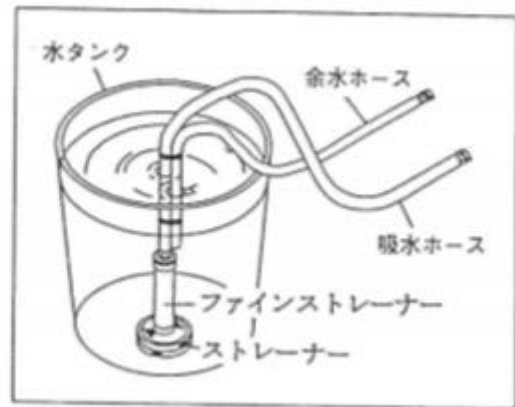
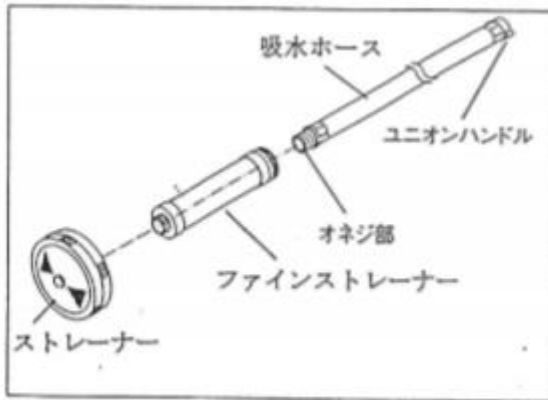
- ③ ポンプの吸水口にフィルターを取り付けている機種があります。

吸入ホースを外して、フィルターの目詰まりがないか調べて下さい。



※②③の解決法としてファインストレーナー(P/N2116300)をお薦めします。

ストレーナーだけでは除去できない異物（ゴミ）を除去し、ストレーナーの浮き上がりを防止します。



Q5 ポンプからオイルが漏れている。

- ① オイルの入れすぎです。適正量となるようにオイルを抜いて下さい。(0.3ℓ)
- ② オイルシールの摩耗、又は損傷が考えられます。

新しい物に交換して下さい。

Q6 ポンプ内オイルが乳濁又は泡状になっている。

- ① 水が混入して混ざっていると考えられます。
- ② ワグナーの指定サービス店に連絡して下さい。

Q7 高圧洗浄機に使用するオイルは何ですか？

- ① エンジンには、ガソリンエンジン4サイクル用を入れて下さい。

出荷時は「10W30」(SAE # 30~40)が入っています。

予備として P/N2115510 (1ℓ 缶入り、ガソリン・ディーゼル共用)

※注入量は必ずオイルゲージで確認して下さい。

- ②ポンプにはプランジャーポンプ専用オイルを入れて下さい。

予備として P/N2115500 (1 ℓ 缶入り)

※注入量は、オイルゲージをねじ込まないで上限、下限を確認して下さい。

Q8 保管する時の注意点はありますか？

① 冬期間は、ポンプの中に水が残っていると凍結して、破損する恐れがあります。

必ず水を抜いて下さい。

② 湿度やほこりのある場所は避けて下さい。

③ カプラソケット・プラグ、取り付け金具に潤滑油などを少量塗布しておく次回使用する時にスムーズになります。

Q9 安全に使用する為の注意点はありますか？

① 機械は水平な場所、換気の良い場所を選んで下さい。

② エンジンを始動する前に各ジョイント部分がしっかり取り付けられているか確認します。

特に洗浄ガンの引き金に戻っている事に注意して下さい。

③ 各フィルターの目詰まりがないか調べて下さい。

④ 各ホースの表面に「ひび割れ」「よじれ」などがいないか調べて下さい。

⑤ 水タンクに異物（ゴミ、砂）が入らないようにして下さい。

⑥ 本体と洗浄ガンをつないでいる洗浄ホースはカプラ式になっています。カプラソケットには

安全の為「スリーブロック方式」となっています。

使用中は必ず「安全ロック」をかけて下さい。



ブランジャーポンプオイル量	
	オイル量 (ℓ)
WZ13-150EX II	0.5
WZ12-160CPS	0.35
WZ13-150ECO	0.3
WZ13-150ECO II	0.3
WZ13-150NEOS	0.3
WZ16-200NSSP II	0.6
WZ13-150ECON	0.5
WZ13-150NEOS II	0.5

エンジンオイル、ポンプオイル 10W-30